



お子さんの発達を支援されている皆様へ

災害による影響を受けている皆様、ならびに感染症による影響を受けている皆様には心よりお見舞い申し上げます。

4月になり新年度を迎えました。環境が変わり新生活が始まった方もいらっしゃると思います。

過ごす場所や会える人、取り組む活動が変わるなど、新しい日々は期待と不安に満ちていますが、行動が変わるチャンスでもあります。行動が変わると環境も変わります。いい変化の循環が始まっていくことを願っております。

✿手応えのある毎日を✿

社会性やコミュニケーションの発達に支援を必要とするお子さんにとって「待つ時間」は困難を伴いやすいものです。いつまで待つのか見通しが持てない状況や過ごすための活動がない状況では、落ち着かず不穏になるお子さんやより強い困難さを示すお子さんがいます。一方で、スマートフォンやタブレット端末、ゲーム機器を手に入れているお子さん達は、病院等での待ち時間もおとなしく過ごしている姿が見られています。社会性やコミュニケーションの発達に支援を必要とするお子さんは感覚を好む傾向があることから、「視覚・聴覚・触覚」刺激を同時に得られる情報端末とは相性が良いのでしょうか。混乱や困難を伴う時間はお子さん自身にとってもご家族や支援者の方にとっても心身に負担が高いため、状況によっては情報端末を上手に利用することも必要かと思います。

一方で、情報端末と触れていない状況での様子はどうでしょうか。

以前は、「ジャンプする」「高い所に上る」「自分でくるくる回る」「ブランコをこぎ続ける」「椅子をカタカタさせる」「水や砂等を触り続ける」「目の前で自分の手をヒラヒラさせる」「寝転んで電車を目の前で前後させる」「お皿を何度も回転させる」「三輪車のペダルをくるくる回し続ける」お子さんが多く見られていました。

最近では、「抱きつく」「大人の手にぶら下がりながら歩く」「しゃがみこんで引っ張り合う」「ゆびしゃぶり」「歌う」「独り言を言う」お子さんが見られています。

どちらも、何らかの感覚を得ようとする行動ですが、前者の行動を示すお子さん達は能動的に行動することで感覚を常に得ようとしているため、感覚が得られるような教材を提供されると着席して何度も繰り返し取り組み、安定して過ごす活動レパートリーが増えていきました。

では、後者の行動を示すお子さん達はどうか・・・このような行動を示すお子さん達は、まずは能動的に活動に取り組む機会を増やす必要があります。そのためには、「自らの行動によって手応えが得られる」という経験を増やしていきます。例えば、大きいブロックを積み上げる、自分の力で高さのある段を上り下りする、高さのあるバーをまたぐ、ペダルを踏みこんで車輪を動かす、ほうきでボールを転がす等です。まだ身についていないこのような行動を出来るだけ早く誤学習なく達成できるよう、お子さんの特性に合わせて対応アイデアを見つけ支援していきます。その結果、活動性があがり能動的な行動が増えていきます。このような行動が増えていくと、全く意欲を示さなかった着席での取り組みに挑戦する姿が見られるようになり、活動レパートリーも広がっていきます。

代理経験や時空間のイメージに困難さがあるお子さんにとって、手応えのある取り組みはとても大事です。手応えのある取り組みは「いつ、何を、どれくらい、どのように」という感覚を持つことが出来るからです。例えば、ギュッギュッと力を入れて一定量組み立てた取り組みは、その時間確かに何かに取り組んだ記憶を体に残すとともに、完成した一定量の作品の映像は視覚的にも記憶に残ります。作品が綺麗に仕上がった結果、周りの人に明確に賞賛された記憶もお子さんの中に残っていくことでしょう。

知的な能力の程度に関わらず、このような取り組みは、社会性やコミュニケーションの発達に支援を必要とするお子さん達にとって、安心と安定をもたらします。

新年度、新しい試みとして、手応えのある毎日に挑戦してみませんか？



高南文化祭「作品展」に参加しました

2025年3月1日～3日に行われた豊島区区民ひろば高南第一様主催の高南文化祭「作品展」に当財団も参加させていただきました。区民ひろばは、赤ちゃんからお年寄りまでどなたでもご利用できる施設です。地域の方々が気軽に立ち寄れる場として、またいきいきと過ごせるように支援する場として、さまざまなイベントを企画、実施されています。また「作品展」は、地域の方々から手芸品・絵画・写真・書道など日頃の活動を披露し、コミュニティを活性していく場として、開催されています。今年度は四季をテーマにお子さん達が一年間取り組まれた作品を展示しました。ご関係者の皆様、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



子ども療育相談センター説明会のご案内(オンライン)

発達に支援を必要とするお子さんがお住まいの地域で様々な活動に参加する機会はとても増えてきました。一方で、色々なことに挑戦しているけれど、たくさん通っているけれど、「学んでいるのだろうか」「このまま続けていく方がいいのか」「増やした方がいいのか減らした方がいいのか」など、悩むことも多いのではないのでしょうか。社会性やコミュニケーションの発達に支援を必要とするお子さんへの療育はお子さんが「挑戦する機会、学ぶ機会、ほめられる機会」が増えるよう、他者とのやりとりを好むようになるよう努める必要があります。また、どのような発達の状態なのかを多角的に捉えることも必要です。この説明会では、当センターの相談や療育の内容について具体的にお伝えしていきます。ご興味のある方はぜひお問合せください。お待ちしております。

日時:原則 毎週土曜日 午後12:30～(30分程度)

開催方法:オンライン(ZOOM)

対象:原則 小学校入学前のお子さんの保護者の方(小学生の方は事前にお問合せください)

費用:無料

申込方法:下記連絡先までお電話で「子ども療育相談センター説明会希望」とお申込みください



お問合せ・お申込みは下記までご連絡ください

電話受付時間 火曜～土曜 9:00～16:00

子ども療育相談センター直通 03-3986-7060

【発行元・連絡先】

公益財団法人 明治安田こころの健康財団 子ども療育相談センター

〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10



発行日 2025年4月1日



わかたけ通信は
ホームページにも
掲載しています